

米奥小だより

令和7年4月25日（金）

No. 3

米奥小学校 校長 北添 忠

〇丸太ごいの色付け

4月14日（月）と15日（火）の午後に丸太ごいの色付けを行いました。今年は時折小雨のぱらつくあいにくの天気となり、玄関横にテントを設置し、雨をさけての作業となりました。月曜日は縦割り班で作業を行いました。上級生が下級生に作業の手順を教えるなどしながら、協力して色付けを行いました。使う色は「赤色」「青色」「黄色」「緑色」の

4色のみで、混ぜて中間色を作らず、4色を際立たせるという決まりです。これは、丸太ご



いを水に浮かべたときに、良く見えるようにとのことで、受け継がれてきたものです。児童らは、意見を出し合いながら、時には豪快に、時には細かく工夫をしながら丸太に色を付けていました。火曜日はグループではなく、児童1人が1本を仕上げるようにしました。いろいろな大きさの白く塗られた丸太の中から1本を選び、自分の感性で色を付けました。友だちのを参考にしながらも、自分の気に入った色で模様を付けていき、一つとして同じものはない自分仕様の丸太ごいが出来上がりました。2日間の作業で、1人が3～4本の丸太ごいに関わってきましたが、そのなかの1本を選び、「これが自分の丸太ごい！」として名前を付けました。多くの丸太ごいは一斗俵の沈下橋付近に浮かべますが、児童が選んだ1人1本の丸太ごいについては、学校近くの四万十川に浮かべられます。

2日間の作業の多くは児童が行ったのですが、学校運営協議会の他、四万十町教育研究所と補導センターから応援の職員が来てくれ、作業を手伝っていただきました。ありがとうございました。



○昼休みのようす

4月17日（木）、今年度最初のALTが来る日でした。今年度からALTとしてチャーリーが来てくれることになり、昼休みも児童といっしょに過ごしていました。グラウンドには下校前の1年生二人も含めて多くの児童が出て身体を動かしていました。米奥小では、学年を越えていっしょに学習したり遊んだりすることが当たり前ですが、春の心地よい日差しの中、ほとんどの児童がグラウンドに出て、思い思いの時間を過ごす様子は、見ていて微笑ましく感じました。

